

山口和之さんの
いきいき
Interview vol.5
企業探訪



日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
(やまぐち・かずゆき)

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

山口 建物内の快適な環境を維持するためには清掃作業は欠かせません。今回は『快適環境を創る』を合言葉に仕事に励むアーバンライフさんにお邪魔しました。まずは業務内容について、熊谷努社長にお聞きします。

山口 業務を請け負う上で大切にしていることは。

熊谷 第一はお客様とのコミュニケーションですね。建物は完成したばかりの時期と数年、数十年経過した時期とでは、オーナー様の悩みや要望が変わってきます。その声を聞いて、その時に合った提案をして、少しでも長く快適に建物を使っていただけのお手伝いをしていきたいと思っています。もう一つはスピーディな対応です。お客様からの急な依

頼や要望の中には苦情もありますが、いずれにしても迅速に対応し、お客様に弊社は便利だと思っただけのように心掛けています。

山口 コロナ禍で変化したことはありますか。

熊谷 一時期、仕事のなくなつた旅館・ホテルの担当スタッフに対するケアが大変でした。病院や介護施設はコロナ禍でも仕事はありましたが、旅館やホテルは、つい最近まで仕事が激減していました。コロナ給付金などある程度の給与補償はしていましたが、弊社の旅館・ホテル担当スタッフは「家で暇を持て余すより、外に出て仕事がしたい」という理由で働いている方が一定数いましたので、一時的な仕事を作ったり、病院や介護施設で従事できるようにし、「仕事がないなら辞める」と言われないうちに気を配りました。

山口 コロナ禍で変化したことはありますか。

熊谷 これまでと異なり、美観的な清掃から衛生的な清掃へ変化しました。病院や介護施設では以前から実施していましたが、弊社では日常的な清掃の仕様書を作成する際、検査キットを使って目に見えない汚れが多い場所を特定した上で、清掃回数や方法などを提案しています。例えば

変わったそうですね。

熊谷 社員や清掃スタッフの意見を聞いて、有給の取得推進や残業の削減、育児休暇後の仕事内容・勤務時間の見直しなどを行っています。

山口 今後の夢やビジョンについて教えてください。

熊谷 協力会社に依頼している設備の管理や保全業務などの分野を自社で請け負えるようにしたいと考えています。社員が様々な知識や経験を蓄積し、理想はお客様からどんな些細なことでも「とりあえずアーバンライフに相談しよう」と思っていただけのようになれば嬉しいですね。

熊谷 社員や清掃スタッフの意見を聞いて、有給の取得推進や残業の削減、育児休暇後の仕事内容・勤務時間の見直しなどを行っています。

山口 働き方改革は進んでいますか。

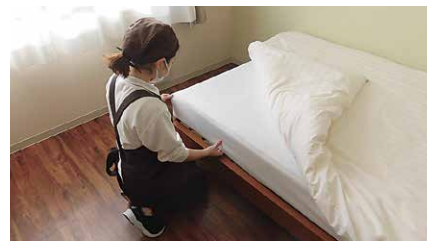
熊谷 社員や清掃スタッフの意見を聞いて、有給の取得推進や残業の削減、育児休暇後の仕事内容・勤務時間の見直しなどを行っています。



代表取締役
くまがい つとむ
熊谷 努氏

(株)アーバンライフ

郡山市富田町字上西田29-1
TEL.024-961-2900
http://www.bm-urban.com



日々の清掃作業に取り組むスタッフ

お客様とのコミュニケーションを大切に
コロナ禍以降は美観的な清掃から衛生的な清掃へ

山口 清掃の考え方や方法も



熊谷社長から清掃業務などについて説明を受ける山口さん

待っています！

ば、ある施設では授乳室のドアノブが一番汚れているという事実が判明しました。コロナ禍以降は病院・介護施設以外の建物でも同じように提案するようにしています。

山口 働き方改革は進んでいますか。

熊谷 社員や清掃スタッフの意見を聞いて、有給の取得推進や残業の削減、育児休暇後の仕事内容・勤務時間の見直しなどを行っています。